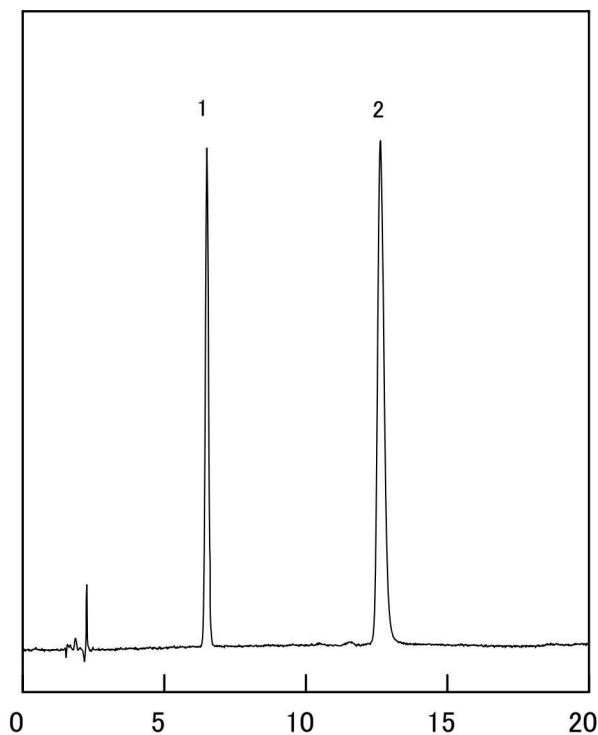
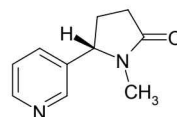


ニコチン、コチニンの分析
Analysis of Nicotine, Cotinine

ニコチンは主にタバコの葉に含まれており、依存性の高く、中毒性のある薬物であり、その健康被害においては様々な社会問題を引き起こしています。また、その分析法としては HPLC が用いられていますが、カラムへの吸着が大きく、移動相にイオンペア試薬が用いられています。今回はニコチンとその代謝物であるコチニンの一斉分析を行いました。ニコチンは他社のカラムでは非常にテーリングしやすい化合物ですが、**L-column ODS** においてはテーリングすることなく、単純な移動相で分析することが可能でした。



1. Cotinine (10 mg/L)



2. Nicotine (20 mg/L)

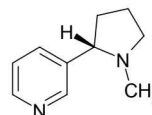


Fig. Chromatogram of Nicotine, Cotinine.

【Analytical conditions】

Column: **L-column ODS**(C18, 5 μm, 12 nm) 4.6 mm I.D. × 150 mm L.
 Mobile phase: CH₃CN/25 mM Phosphate buffer pH 7.0(10/90)
 Flow rate: 1 mL/min
 Temperature: 40°C
 Detection: UV 260 nm
 Injection volume: 20 μL
 System: -